

2022年5月27日

循環器内科学講座教授選考方針

循環器内科学講座教授選考方針検討委員会

委員長 吉川 公彦

委員 嶋 緑倫

堀江 恭二

田中 康仁

本学循環器内科学講座の斎藤能彦教授が2022年3月末日をもって定年退職したことから同講座の教授選考を開始します。

本選考では、循環器内科学を専門とし、品格と見識に優れ、社会規範を遵守し、奈良県立医科大学を愛し、本学が発展的に存続するために貢献できる人物を求めます。

特に下記の項目について考慮しながら選考します。

- 1 循環器内科学に関する広範な知識、豊富な教育経験及び顕著な研究実績を有し、優れた指導力を発揮して学会においても存在感のある講座として発展させられること
- 2 最先端の研究、治験の実施、外部資金の獲得など循環器内科学分野の研究と後進育成を牽引する拠点として講座運営できること
- 3 循環器医療の中核を担う医療機関として医療安全を含む医療水準の向上を図りながら大学病院としての診療需要に応え、関連診療科と緊密に連携・協力して柔軟な組織運営ができること